谷 格 木 河 榮 忠

各仕向地共激增

引續き主計處で査定中

(東京十三日設國通) 半毛工 素會調査によれば一月より四 月までの毛糸、毛織物輸出額 は七百二十二 薫園で、昨年同 期より三百八十八萬園約二割 別に見ると毛系は印度の二十六萬ポンド、毛織物は関東 族産を執る事となった 態度を執る事となった では否定されて居る、ドイッの輸出貿易不振の結果部外國で 中央銀行は多額のマルタ勘定 中央銀行は多額のマルタ勘定 事によつて決裁し

東紙幣が棚を示せるドイック したがこれに関してロンドン したがこれに関してロンドン が原では依然マルク平値切下 が近しとの強測が行はれて居 る、しかしこれは今の隠正式

山份増徴と

新京木材の暴騰氣配 百十四を徹收せ

日公布される豫定である 日公布される豫定である

大倉の鑛業株肩替申込み

蔵入總額一億七千七百五十七昧億元年度滿洲國政府強算は

報告で進退を決すると云はれるが、強害内容を事前にれるが、強害内容を事前になが、所信如何」と追及すると炯切氏は「憂鬱な氣は自なたが、所信如何」と追及すると炯切氏は「憂鬱な氣は自なが、折っる意思なられる」と意味あり氣になるが、かいる空氣が高が高い一緒する意思なきか」と突込んだが再び答べずかっと突込んだが再び答べずない。 米國關稅獨

大連銀行界十五日利下げか

**厘乃至五厘方を** 

大統領署名

ル大統領は十二日夜陽殺獨数 ル大統領は十二日夜陽殺獨数 ル大統領は十二日夜陽殺獨数 院を通過し、直ちに大統領の 下に設附されたもので、同法 案は故に正式に成立した、同 法案は互惠主義による新通商 体約の締結並に陽稅率の引下 「乃至引上げに関する獨裁權

外人、永代借地権及ひそれに 構法改正 標本の通り横濱、神戸、長 である。 「東京図通」横濱、神戸、長

本で有せざる支那、ドイッ等の が関間にのみ之が移譲を認め が関間にのみ之が移譲を認め が関間にのみ之が移譲を認め が関目にのみ之が移譲を認め がですせざる支那、ドイッ等の で有せざる支那、ドイッ等の がでする。

するに至ったが、

電車のでは、 東京関連) 國民同盟の機構 のでは、十一 では、十一 では、100 では、10

堀切翰長と會見

何を物語る?

関民が満洲國の到聯邦としては特別

會」に於て聯盟の支那に對す に關する聯盟理事會特別委員 に関する聯盟理事會特別委員

ラ駐支聯盟常置代表の任務

を派遣し準備工作を行つて民間したが、經測方面でも現に関心を決定が、経測方面でも現に関でも現に関する。

(ワシントン十二日愛國通) ラフィレーは十二日國務省を 達する一九三四年度上半期最 護する一九三四年度上半期最 が関し來る十五日支拂期日に を行はぬ旨

て居ないが右に帰し瓜木監査との報は未だ本社に報告が本との報は未だ本社に報告が本界京支社に對し山東鑛業の延

終まる和税の滞納問題は多年 で、十三日外國人又は外國法 で、十三日外國人又は外國法 人の為に設定したる永代借地 権を収得したる場合に闘する

依然低落步調

職入は物々交換の方法により に報の知く今回のドイッに於 さが、果して本日某所常電に 依れば、数日前大豆問題を擔 だが、果して本日某所常電に 依れば、数日前大豆問題を擔 でイツ氏は外相、經濟相とも協 が、果して本日某所常電に 依れば、数日前大豆問題を擔 でれば、数日前大豆問題を擔

一萬間に達して居る

りとして鷹するか否かは一つて居るので、開設の皮切って居るので、開設の皮切って居るので、開設の皮切って居るので、開設の皮切って居るので、開設のに株を持ちいので事情が解らぬが同様

**大使を通じ** 

されてしまった

った源子で、彼女の歌。 ある時、現場の際の 一人の投げた手榴弾 その朝、大尉は何心なし歎既を

は日本の女である。 とは能く知ってる 野んでもた。そして、不動心子の い事が目に関れたのであった。 い事が目に関れたのであった。 が別地へ見った。けれど大鳥の心 あられてあった。けれど大鳥の心 ながいたのは、質て湍洲に固て流 が別地へ見って来た前目の語いな な、無験がにも限って出なかったは、無験がにも限って出なかったとして見かい。 対路側の女として見かい 像一の行動に不満を抱いて、 大駒も、それが形子であると

時間関は満洲國不承認主義の 資徹を期する目的を以て満洲 及所の 大人パリ不職條約 三、満洲國通貨担の に對しては該外國領事は旅 に對しては該外國領事は旅 に對しては該外國領事は旅 に對しては該外國領事は旅 に對しては該外國領事は旅 に對しては該外國領事は旅 に對しては該外國領事は旅

とを禁止する方法がない、 こ、 満洲関連貨による取引は とを禁止する方法がない。

満洲國に對する經濟封鎖

に参加する事を阻害するため平和的處理係約パリ不職條約

小導故に過ぎなかった。だから歌

歌兵連は、 寄って 問記事といつても、 大經路十五人為通南衛長野商會

格安品荷揃

双葉洋行 葡萄二一三五香

電バス内の廣告欄を御利用下宣傳廣告には効果絶大なる満 新三ア九三省堂製本所 各種製木專門 九三六年 本の國民の覺悟を 合座

合組商炭石京新

番七三五二 九三五二

特別廣告 祝町一日中日 博多屋

一一四日脚四日間日本本女性に魅るを作品を大超特作品を大超特作品を大超特作品を表情の愛國籍!!

日本女性。歌

群 寸、椎 貨和 推 衛 施 施 施 施

屋問卸

特約店

希望者は 股胚學持分 新京大馬路四九松のこ 車 數熟 練 名工 募集

当日 商

會

来社アレ試験ノ上採用ス 技術優秀ナル者ヲ求ム希望者 スト募集 1 履歷書持參

内外線電氣互事並二動力据付 各種電燈取付五事請員 昭公司電氣部 新京中央通り十二番地



交配に連れて行かれ、 (百九十八)

校客する手舗をを収 で概念して、他を開 で概念して、他を開 事の時は和彼女なのではないか。 といばれ、思と呼ばれる質核の無 松枝 その上、彼女の眼は、私久にだり

ならぬ後の世の節へ急ぎたい。それが彼女の凝れな特別であつた。 どうかして験込の方へ行つてそれ はなれなかつた。 しい茂彦の響だけなり 氏家の家の、様子も知り

住家の御紹介 漫画を記された。 後草・治療院 入船町ニノニ三 入船町ニノニ三 あんま

金融致します~明日通十七電話にて極秘~明日通十七

マツサージ



開治療所



**番九四〇二**話電













料数捐。

















火石嶺原煤満鐵貯炭場渡し 付金八 八圓五十錢

新京 販賣事務所南滿洲鐵道株式會社精為質は別途質費を申受候

電話 100

福 **支本** 店店 田

青果委託賣買

### 身極度に疲勞 健康恢復次第事情を聽取 夜受領す

【南京十三日發國通至急報】藏本副領事の失そら 度に疲勞して尋問に耐へぬ爲め健康恢復次第一切の事情を尋ねる事となつた藏本副領事の身柄は十三日午後五時頃支那側から受領した然し本人は心身極層計三日愛國滿至急襲」嚴本副領事の失そうに關し我總領事留當局では午後時十歳日頭を以て左の如く發表した 南京總領事館發表

正式公報を待つて 我態度を決定

ソ聯南部地方

め多橋き作物は殆ど枯死しは四、五月頃に旱魃糠いた

春播き作物は愛芽狀態不良で

五月下旬に降雨が有つたため

本年の農

も本年度の收穫は中の下以下後の天候が順調であるとして

るが設育振りは依然悪く、

幾分見直し

日五十月六年九和昭

生存の報に外務當局語る

南ロシア地方に於ける最作物の出来 ソ聯邦に於ける長作物の出来 ソ聯邦に於ける長作物の出来

推滿條

曾解

死令

【東京十三日發國通】 藏木副

が、何れにしても一國の首の場所にして嚴本副領事が斯如何にして嚴本副領事が斯如何にして嚴本副領事が斯如何にして嚴本副領事が斯の。 に對する我態度を決するで正式公報あり次第更めて右正式公報あり次第更めて右

元老重臣間

の連絡

日と共に頻繁

駐支公使館發表

個事で方不明事件は、好轉しつ A ある日 支關係に暗影を投 じ重大結果を齎すものとして 一大ショックを興へて居たが 今回氏が南京郊外明孝陵に生 存して居る事判明したとの報 に關し外務當局は語る

言語動作共に著しく常規 支那側報道にもあるが如 細なる取調

「上海十三日登園通」十三日 年後十時公使館競奏 南京よりの情報によれば、 十三日午後五時十分南京總 も別取つたが、同人の精神 を引取つたが、同人の精神 が を行ふ答である でを行ふ答である でを行ふ答である。 のれ精神状態の のなる取割 のなる取割 のなるである。

不安を憂慮して元老軍臣が連 大視されて居る、即ち政局の 藤首相の退却切迫せりと云は が進んだ工作と觀られ、驚襲 老重臣に通告したゝめその善 を重臣に通告したゝめその善

誠意極まる

支那憲兵司令の發表

我官憲極度に憤慨

鈴木侍從長の園公訪問と れて居る

聞新

H

日

未だ何等公電に接して居な いが、そう云ふ情報が入つ た以上恐らく事實だらう、 蔵本副領事行方不明以来我 厳書局は國民政府に對して

京

日満要人の暗殺を計畫し七名 に夫々百五十元宛を支給、更 に成功したものには廿萬元の に成功したものには廿萬元の が 質金を給する事となつた冒窓 し宮内省方面では全く政局に れに對し他の觀測は鶯藤内閣 房場後の後繼離は必然的に現 内閣の居掘以外に方法はなく 各方面の空氣も消極的にこれ を要望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可望して居る結果上層方面 を可能の思測は鶯藤内閣 江下物ご東部線搬出禁止で

件の中間報告に關し、司法部を破り、政局に一大危機を招を打る大蔵省事をすべく強烈される大蔵省事

中間報告

今週中は不能

特遇改善は直ちに発 の幸福を補喫するい の幸福を補喫するい

ていります。 氏の特任説は屋々傳へられて は現湖北省主席張群氏が就任 にの特任説は屋々傳へられて

道は相當確實なものではない

| 19 | (本) | (x) 備工作なりと見るもので、このは大規政権に對する準備工作を進め出来る限り順

四

茶店の老人語る

しめて

日滿要人暗殺

を待つて居るが、右の狀態に を待つて居るが、右の狀態に を存正論は、厳本副領事發見 をが正論として恰も厳本副領事發見 で不誠意な發表をなし、我官

賞金を懸け

交代部隊

先發部隊着津

木材價ガタ落と

北満営業者倒産者續出か

【南京十三日登園通至急報】 十三日午後一時、明季陵の茶 店の老人は、幸陵裏の洞穴中 店の老人は、幸陵裏の洞穴中 店の老人は、幸陵裏の洞穴中

関像され

獨伊首腦の會談內容

音見内容は絶動秘密に附され を換を逃げる豫定で兩百人の 交換を逃げる豫定で兩百人の を換を逃げる豫定で兩百人の

縮一較委員會の無行が

命には別駅ないものと思は 常しく疲勞の複様だが、生 関いて驚いた、同氏は身心

原史的會見を前に水の都ペニュの南北に對峙する兩獨裁王の の南北に對峙する兩獨裁王の

贈を載けてゐるとき実知本材 達して建築器材料は昻騰又昻 今や北隣の登集界は最高調に

観 蒲 焼

の蓄業者にはこれがため回る事業者にはこれがため回る事業を与け哈爾濱本

河北省に で大津十三日製園通)十三日 で大津十三日製園通)十三日 の支那紙は河北省主席子學忠

北欧の盟友ペットラー宰相を一三日午前外務省の首脳と共に一三日午前外務省の首脳と共に一

村一般搬出へ特定の場合を除村一般搬出へ特定の場合を除る大力高州國 

の撤出に光てられるこの撤出に光てられるころ今年はなかつたところ今年はなかったところ今年はなかったところ今年は 

海外經濟

▲大阪棉花



電話三三〇〇番 **營業** 部

店

▲ 準條氏(恭親王)十三日午 後七時三十分驚ナ連から 後七時三十分驚ナ連から

往 來



開

青葉若

各地市場 11410 11410 11410

五千

番四七四三話電

近 H

御期待下さ

新京三笠町二丁目 重二八六九番 るいサ 皆様の スガノ 御期待下さ イス てせう い氣分ご明 ムを與る事 濆 水池畔 y ヴ

鎌道沿級から遠く離れて住む ず職雨豪雨に襲はれて居るが 「大樓の今日此頃は三日にあげ 地圖にない河氾濫

相當程度の

五泊する事

一連日 一本材が山積され

**小東収扱所北詰所には最近の** 

承徳は宛ら大洋の孤島

といつても

番困るのは旅

ため強期せぬ三、四日の滞留にの強制をしたり動車も一たひ 地盤も軟く山椒電量のため豪道路は相當無理な箇所もあり

は十一日附を以て陸軍經理學

校教官に榮轉、近く東京に赴

住谷主計正榮轉軍政部顧問

| 図ぞの値の風景である、承飾| | 総ち奔流する峰はエチオピア なければ確 ま、國群を報じた

建直しのため積年の宿弊を破も言ふべき人で補州國軍経理

同主計正は軍政部の草分けと

は各方面より増まれてゐるた功績は頗る大で今回の韓補

山脈を國家の軍隊となし

第三回

富田憲兵少佐

送別會盛况

田種館員を命ず新京保線區線 市種館員を命ず新京保線區線 中種館員を命ず新京保線區線 中種館員を命ず新京保線區大 で在動線路方を命ず 本館 本館 本館 本館 本のず新京保線區大 本のず新京保線區大 本のず新京依率區間度 大を命ず新京依線區大 本のず新京依率區間度 大を命ず新京依線區、大 本のず新京依線區、大 本のず、東原 米蔵 一瀬 利男 一瀬 利男 選々たる事を裏書するものといふことに就ては確言出来ないとの意見に變更を見るに至った事は、大嶽省事件の取調 中間報告を であらう、 日に至つて 日に至つて には八十五 中間報告は難かしい 未だ収調べは豫 8つたが、十三 なくは持つまい

同八時三十分盛會裡に解散し並に衝京譽幹部主催で開催し

憲兵少佐の送別會は十三日午安東憲兵隊長に榮轉した富田

監督署管下熱河稅務 新京憲兵縣本部副官を命ぜら 新京憲兵県本部副官を命ぜら

西田少佐着任

改善 元く實現の待遇 失そう以来六日昏睡狀態になった蔵本副領事を洞窺内で設

その日く

齋藤首相の挂冠期切迫か

が小山生相の報告により責任いたつても斯る と大同小異で而も舊政権時代官吏の待遇は從來舊政権時代管吏の待遇は從來舊政權時代

のであつたが監督署は右待週に回に亘つて遭遇した行政費 の待遇ので

他地方と同様の特週 る外國外交官(まして日本の) の受けたる侮辱

外務當局の決斷を認むや切的的信息が強ひ歩いた如く斷ず、然本氏

柳條溝戰跡御視祭

昭和九年のけふと較べ想へば 幾多皇軍鬼籍に入りし將兵に 第一回 元常公子 ★大連煙合向

典 植 1111至0 (火機) 寄 村 1111至0 (火機)

| 大阪 | 一大阪 服 寄付

整 現 物 出來高 是 果 1/10 二車 豆 (\*20 一車 豆 (\*20 一車 豆 (\*20 一車 10/210編 8大洋對金票 10/210編 8大洋對金票 10/210編 8大洋對金票 10/210編 新京市况

松さの小田物

2

◆街ヤイダ京新

★上海倫敦向 質值 1或片(分量 質值 1或片(分量 1或片(分量 1或片(分量 吉胜町角

に相應

しい

深線の初夏

數千の

石山螢

亂舞を

女給

階下ホー 設けまし

大攺装しべ ピー庭園を

地に
材料復場として雨曝しになつ

一植木 二して遊園地にすることになつたが、材料電場の移轉とよもに近日中いよいよ谱手することになつたが、材料電場を度は豫算値かに二千余圓に二丁目程度に止め、それも完立日本橋通までずつと植林して日本橋通までずつと植林して日本橋通までずつと植林して

中で輸送の漢定であつた第〇〇〇〇隊遺骨は既報の通りのため定刻より十七時間三十 のため定刻より十七時間三十 のため定刻より十七時間三十 のため定刻より十七時間三十 に

大遊園地化する計量で、このになつた、これが完成の時はになった、これが完成の時はことになった。これが完成の時はこと 銀絲煙る中を 十八体の遺骨悲しく凱旋 

であらうと期待されてゐるであらうと期待されてゐる

**學生、室町小學生その他一般** 出迎への關東軍幕僚、在郷軍 1

財の輸送指揮で内地へ還送さ 関東軍金謀副長以下陸、海、 関東軍金謀副長以下陸、海、 ||佐元|||の後、昨夜西本 行った第〇〇〇酸遺骨十一体 と合し十八体の遺骨は午前九 病兵總数は百二十餘名であるなほ現在新京衛戍病院入院傷 **亜之助が** 

四、満洲に於ける青年閣及ひ三、甲府青年俱樂部の現況機及現狀

二、日本に於ける青年圏の租

六、日本留學の所感

公主

強術

戊病院

に選送する、

一、挨拶、主

王健者協和會中央 かに同日の意談

六、日本町

五、現時局に對する日補青年運動の動向

京圖線叉も

喜(三四)は家人の不在中を 馬路吉井木工廠内ボーイ張文

ボーイ金を盗む

【東京園通】芝居の名家香羽 家に由緒深き菊之助の名を六 代目菊五郎の長子丑之助が襲 名し、同時に名代に昇進、來 名し、同時に名代に昇進、來 **武報、十三日** 

地盤弛み今後も油断ならぬ

現金國幣、金票取混ぜ六百五出し店の間の手提金庫から、

四輛、昨日順覆した四輛、外

新京衛戌病院

満員の盛况

一 最近新京衛戍病院では 満が多いため 町院では 浦員の では 、そのため十五日

復傷工事は最 終了の豫定であつ なした貨物列車の なした貨物列車の 地、威虎鐵站側二

|満載 計十編は

稲民獎券開彩

頭彩は三九、三五五

乙は新京、甲は奉天

後九時三十分完了した、なほの四幅が再度の配線をしたAの復居工事がやらやく午めその復居工事がやらやく午 ||した第二千三百 らこれが除去作業にとりか」
||五十一貨物上り る、なほ、今後とも京岡線は
かゝつた際該列車 所々に切替線が多いのと地盤
の 記線をした」 弛緩の地點が多いため油斷な

1月1月 | に脱線のまゝ取が、列車通温には支障を来たが、列車通温には支障を来たが、列車通温には支障を来たが、列車通温には支障を来た

水害のため ること」なった

フィリツピン 水泳選手を

唱和九年六月十五日

電話ニ七五〇番

不要、御辨常は各自御持参下さ

日本選手權

キラム南氏を招く事となつたり、ジャンのイルデフオンゾ、ジャンのイルデフオンゾ、ジャン・ 學野球チーム ハーパード大 

新京日本橋通七十四番魚

八月橫濱着

月十六日横濱着の豫定である のでは米国ハーバード大明野 のでは、日本に来度いとの申込 を受話したが、同チームは八 を受話したが、同チームは八 の申込 のである。

代表此員新井宗光 合資會社雙發洋行印刷部

▲日本橋通十番地平尾磯明氏 時の間に自宅前で物取さる を十二日午後八時から同十 を十二日年後八時から同十 では、一世の間に自宅前で物取さる

現大洋對金票 現大洋對金票 けふの 銀相場

では、終るや殿下には種々御下げ、終るや殿下には種々御下には種々御下には種々御下には種々御下には種文が表替を認み、左後方三メートルの個所、これぞ支那兵爆破がの地點である、幅三十センチーの地點である、幅三十センチーで九月十八日、支那兵線破標地點」と墨痕鮮かに印されてある四四七號のカール、そ 具要通知の重賞を果した二十 してジャックボックスによる

第二次殘りの競馬 昨年来、地方事務所と市政公 場間で折衝を終へ、現動京分 るた特殊傳染病権は過日入札 も終り態々近日中に今井組の 手により建築に着手すること 本 日擧行 研 完成の際には従来五百名足ら 本年十月被工の強定である、 本年十月被工の強定である、 本年十月被工の強定である。

殿下には午前八時十分御旅館御氣色も拜せず秩父御名代宮の御疲勢の別職(御観察に空の御疲勢の

御遊ばされ

|| 画豆と || 賜ひつゝ同三十

れ、これより十一の陳列室をでめさせられて鳳凰樓を下ら

案内で厰内を御巡覽遊ばさ

興味御灤氣の御様子にて一々内藤副館長の御説明に畏くも

な御下間あらせられた、かく御らなづかせ給ひ時折専門的

一六二九、三七七〇三九二〇、六九八七 三九二〇、六九八七 七四〇八、八六七一 一八二四一、二四二七五 一八二四一、二四二七五 一九三四六、三一七三三 三一九七二、三五〇九三 三九七七六、四〇四九五 四二五六三、四九三四〇 四九九一一

學生團およひ靖安軍千八百餘緒列する被服、軍機兩廠職員

槍匪賊分布國並に學校生徒の 選案廳、警務廳、教育廳より 管案線計圖をはじめ匪賊の使

天合「松尾商會」

會」)

四〇一三一〈甲組チチ

寸暇もあらせられず

酸の機様を織り込んだ機能を かテーブルには飲定四庫全書 二十四册が整然と並べられて ある、殿下には親しくこれを ある、殿下には親しくこれを ある、殿下には親しくこれを ある、殿下には親しくこれを

の結果脳運に恵まれた得彩は人立會ひ酸正な緊張裡に閉形

前十時關係當局並に各地代賣一般參觀人詰めかけ、定刻午

談會開く 日滿青年懇

特殊傳染病棟

近日中に着手

新京分院隣接地に

左の通り酸表された

後二時から協和會々調室で開催された日滿青年悪談會は滿洲國政府各部の滿人青年協和會中央事務局員その他各方面から出席の日滿青年、三十數から出席の日滿青年、三十數

**連土の地域まで資液つてゐる** 非常な人類の彼に業つて全補

場は雨天にも拘らず早くから 城内三道街穂商會樓上の開彩 大ちに待たれた本十四日

空の使節を迎へ

滯

各方面御成り

先づ城壁を御瞥見兵器廠

させられつ A、 奉天城内に御鷹へ 満洲威學生團の 奉迎に御鷹へ

故宮博物館で

四庫全書を御台覧

馬及び馬塲の調子頗るよく

盛况を期待さる

本とて二日間の盛光期待せられてゐる

十七日土曜日曜の二日間季行 分の休養を得一方顧馬ファンであつたが態よ六月十六日、 側端午の節句ではあり馬は充新京第二次麓馬は度々の藤天 し來る七月の第三次麓馬に臨

(H

九

當夜を

四名傳令二名と共に當日午の狀况について申上げますの狀况について申上げます私は監査巡察として巡察兵私は監査巡察として巡察兵

めて射撃を命じました。巡察兵を此位置に散開せし

【華天國通】御名代宮殿下華 一 ちぜられてより九日目にわた

後九時頃に旺官屯(此の地 監から北方約三千米の地監 にあります)を出設致しま にあります)を出設致しま

く規定してありましたので 時は常に實包を携行する如 時は常に實包を携行する如 当時闘東軍の規定によりま

べく直ちに追撃してあの監 色族を持つて居ります長の 色族を樹てゝあります隔側 宗族を樹てゝあります隔側 の線に展開して居りまして 我巡察兵に向ひ猛射を浴せ かけ、次で敵の左翼方面は

ります各級點を占領して此ならば市街地は大混亂を爲すであらうと懸念致しまして、あの藍色族を樹てゝあの。

分遺除迄走らせ

島本大佐謹話

大佐は感激して左の如き諡話に御説明申上げた光榮の島本のにつき、狭父御名代宮殿下

光榮に感泣して居る事と想

又地下に眠る職友達もこのしては實に感謝の極みで、

はあの白旗を持つてゐる兵 りました、途中何等の徹候 をも親見致す事なく巡察兵 をも親見致す事なく巡察兵

も拘らせられず特に御時間られましては、御多忙中に狭久御名代宮殿下に於かせ

誉を親しく御観察あらせらの酸端地たる柳條海、北大

の附近を前進中、俄然後

曜

とめさせられた複様 に向はせられ、張館長、内藤御覧になることゝて 観兵器廠を御出酸あらせられの時に竣工せる城壁 【奉天閥通】午前十時十分野

り崇政殿を御通過、鳳凰樓のり崇政殿を御通過、鳳凰樓の

常に心配して直気に何事か起き 響を聞き、又砲の中脈では砲撃 於て彼等が率で

たところ殿下には種々御下間遊ばされ、その御熱心の間遊ばされ、その御熱心のほどには私共一間深く感激に打たれこの宮標あればこそ我皇軍が列強諸國に誇り

|紅湖||させ年らも期々

に一大爆音を聞き、火焔の あがるのを見ましたので直 ちに現在地點迄反轉急行し た「印」をしてある部分が 完全に切断せられある事を でである。 でありますと、 一般道はこう に「印」をしてある部分が に「印」をしてある部分が にあの赤旗を持つて居りま

烈なる射撃を開始致します であります、我巡察兵が経 であります、我巡察兵が経

は襲撃すられ、同地にありさなければ柳條海の分遣職さなければ柳條海の分遣職

に於て蔣洲事變勃發當夜の職

北大陸の西北角に南ひ、別 老力はこの線路を北進して 主力はこの線路を北進して 大降雨により前進地區が水 地脈かで再ひ抵抗する事を 相致しました敵はいづれの りました、川島大尉は直ちので、一層其體操が確にな 素類せられましたので、

本映書は极竹現代劇部初夏の特作品として五月初旬七百の松本映書は极竹現代劇部初夏の特作品として五月初旬七百の松いにより館く一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。

「一家が、一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。

「一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。
「一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。
「一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。
「一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。
「一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。
「一家の生計を支へる奮闘振りを遺憾なく描寫してあります。
「一家の書をため録音されるとしたる技師が、其ミシンの音をトーキーの記録に入れるとしたる技師が、其ミシンの音をトーキーの記録に入れるとしたる技師が、其ミシンの音をトーキーの記録に入れるとして五月初旬七百の松と、大い、「一家の書で表書経験と、「一家の書で表書経験を、「一家の書」が高いない、「一家の書」が高いない、「一家の書」が高います。「「一家の書」が高い、「一家の書」が高いい、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高いまり、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高いい、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「一家の書」が高い、「「一家の」」が高いるいい、「「「「「「」」」は、「

新京日本橋通八十九番即 ーミシン
珠會

世界に比類な その靜音は!

留守を幸ひ

告

林場整理法第二條第一項ノ期間ヲ康は元年八月二十日ヨリ康徳元年八月二十日ヨリ康徳元年八月二十日ヨリ康徳元年八月本場整理法第二條第一項ノ期間ヲ康

康德元年六月十三日 實 乘 部 大 臣

齊默特色木丕勒 票

管

確

勉

告第一统

佐賀縣人線運動會

御家族御

齊默特色木丕勒 卿 高 未入會又は通知洩れの方も御楽庫なく御來會下さ友人御蔣合せの上奮で御出席下さい

六月十七日午前九時より

西公園誠忠碑前

酒、菓子、サイダー、

餘異として男女各種競技及職引等

盛倉高店

「家名を汚した不所存者ツ!

ってはならぬぞ

がです

121

形人にいひをくと、部屋にとつ

辯護士

沼

田勇法律事務所

て話ニー四七番人船町四丁目廿九ノニ

新京祝町五丁一

作

ただ一人の「財」の

0

大 桑 丸 六月十六日 はるびん丸 六月十六日 はるびん丸 六月十二日 ちららる丸 六月十二日 がいかる丸 六月十三日 がいかる丸 六月十三日 がいかる丸 六月十三日 がいかる丸 六月十二日 がいかる丸 六月十六日

上 島 寄 港

と叫んだときには、左の肩先か

まはて いいかさ

よいに、他く唱んだ号が取

と軽へて、より返つたその時、

しらないから、別ける のりましたが、近づいた

●七赤の人 誹謗を受け擯斥

立つべき日共同事には注意

子 椅

特約店

診療時間●

日曜祭日午前中自午前中

公主嶺

●九架の人 小春日の和やか ≥ 大阪商船出帜

門司、神戶(人阪)行

材張

蒙各

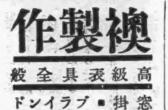
界御指定御採用

タイプライター印書

譯●●●文章立案

新衛

**火瓜番五四七二話電** 





京

東

京

氣

分

0

嬉野

新京三笠町三丁

符(往復切符は復路運賃二 行(往復切符は復路運賃二 行(往復切符は復路運賃二

1リストピューロ

陸海軍鐵道省指定工 丸善礦油會社 成じのいふこの家で皆様の御来遊園、静かな離れ、家にや小田

(8

らず、帰のけざまに倒れんとしたと、間の返す、野にないました。

ことをいたした写文助が、発狂い

路の首を、飾り落してしまった…

聖子郎は、明然、際の正される思

院をこらへての弓之助の際につ

其 グ 床 壓 鐵 車 石 リ 掃 機 角 リ 用 油 他 ス 油 油 油

店理代

行

血は、あづまやの柱に散り、

物度まじいばかり。

「納者は、これより、首題を体

そのな

は、「妹」の死骸を部屋に運んで、

『不聞き者めが!』

仔細があることぢやが、その方に

うが、気はたしかっ

金)

ら解析かけて、気をなりに斬り下

これ! 節かにいたせ」

**大阪商船株式會社大阪商船株式會社** 

割引通用期間三ヶ月)



御出

節は是非

な話三

^=

陳室家

設裝建 備飾具

設計製作

電話三四六六番

市內運搬は一直扱の運搬は一直扱の運搬は一 話三八七八番へ!!

丸正運送店 観話三八七八番 新京三笠町四ノ五

蝇

御多除

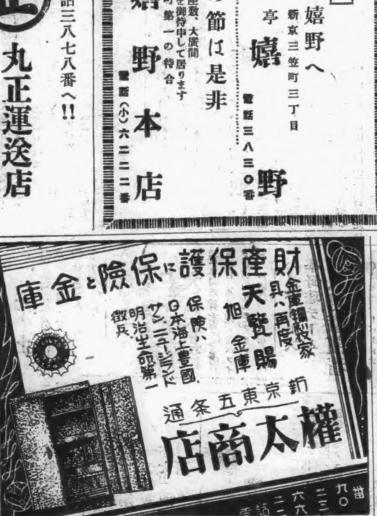
は入青

用 命數

11

虫下レデー

本日は皆さん



なっと

鰻

料

理

痛 社 樂道食

京崎組新京出張所



新築!御氣持よき御座數 そして御氣輕な

端書で御申込み下されば: ……直に配達致します 完会蒸氣消毒濟

五

新しい品質第一主義の 多年経験ある獣醫の精密なる 牧場が生れました!!

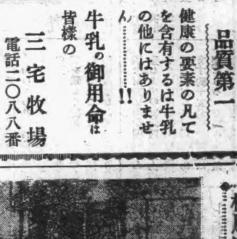
外科、性病科

同

一醫院

新士町三丁目

品質第一新鮮牛乳 監督に依り最も安心して飲める牛乳



(M)

月i

景

松風濾水器

11

ルで薬特 取品殊 扱やな

水性塗料の構成

(単土線)

行友李風階作

(可認始便興體三第)

江戸役者ご

世、御先祖代を帰属類のお位際にせ、御先祖代を帰属類のお位際に

七三 行友李風

成佛いたせ……』

落つる族の下からくちず

兄妹わかれの一番まで選

に関んだ髪山の上のあづまや

征解ひにやつて来たのは、泉水

先に立つた東路が、その中へは

を沈めてをりましてい

●五黄の人 人のほめに強せ

今夏流行新树

ば大に功あり自分事は失敗

既先にあらばれた

単十郎っか

り勝ちにて一向時間かぬ日一六白の人 面倒なる事の起

吉野町二

村岡吳服店

然二一二四番

豐富着荷陳列

◆どんな濁水でも一度の濾過 ◆一度の濾過でコレラ、赤痢が出來ます ◆學校、官衙、旅館、料理店 ◆學校、官衙、旅館、料理店 ◆學校、官衙、旅館、料理店 ◆學校、官衙、旅館、料理店

州、チブス菌を完全に除くこととで質に透明な清水になります 下さい皆樣の御健康を絶体に

上圖は家庭用二吋の濾水器

を水道栓に取附たもの 三时 金二十三國也



品定指御省官諸

然断 特長 等造費 悠康! 

御入浴の 準備ある 御料理 **新三七二四番** 

もでつい

竹廼家 権
ケ技
町二
丁目
十ノニ

電人話船 町 四 四

入番 九

新京西三強街五 同牧 古

想的立體塗料

· 1045

40 保証

8 H 17

谷松十 啓本河 二 菜 郎 勇 忠

[]

日五十月六年九和朝

### 爽 ト山を勸めたがきかなつたと 不誠意極まる發表 外交部 る迄の經過

頗る怪しかつたが藏本氏の寫眞と照合せし處全く符合したので言葉を盡し て下山を勸告 した所 本氏は中々承服せず再三の勸告で漸く午後二 時過 ぎ下山入城した たが藏本氏の寫眞と照合せし處全く符合したので言葉を盡して下山を勸告した所藏で局氏より直接何事を聞く事を得ないが、國民政府外交部では愛して至此の寫眞に酷似せる人物が水を吞みに現れたとの通告があり、直ちに署 員こ名を派し搜索の結果、明の孝陵後方を吞みに現れたとの通告があり、直ちに署 員こ名を派し搜索の結果、明の孝陵後方を吞みに現れたとの通告があり、直ちに署 員こ名を派し搜索の結果、明の孝陵後方を吞みに現れたとの通告があり、直ちに署員とそが、その云ふ所は支離滅裂、態度を答案では力日總領事館高見は職本氏を收容し記者團其他の画書を絕對拒絕し、同氏の健康恢復を俟つ事になつたの「南京十三日愛國通」總領事館當局は職本氏を收容し記者團其他の画書を絕對拒絕し、同氏の健康恢復を俟つ事になつたの「南京十三日愛國通」總領事館當局は職本氏を收容し記者團其他の画書を絕對拒絕し、同氏の健康恢復を俟つ事になつたの

在留日本文武官及び民間激昂 解決は の不誠意に

利用して長時間の聴取をなした。原に連行し其精神錯鬼狀態を順の同人を强制的に南京警察・過に競見しながら直ちに我線・過に競見しながら直ちに我線・過に競見しながら直ちに我線・ 加ふるに外交部より我總領事館への正式通知に先立ちロイ に對し、資本以の會見を强要に對し、資本以の會見を强要 (ワシントン十三日酸國語・ 一十六日ワシントン出題者が に赴くこと、なつたが出致した た立ち十三日ルーズヴェルト 大統領を訪問、瞬國の挨拶を 大統領を訪問、瞬國の挨拶を

の新聞通信趾は未だ眞相 闘國を前 使ル大統領と會見

左の如く述べてゐる 陸で競見され、その失そう 陸で競見され、その失そう の原因は自殺を圖らんとし たもので支那側に何等責任 なき事が立證された、日本

第二の杉山事件の如く騒ぎ 立てたが、吾人は斯る事件 に就いて日本側が先づ壽意 の解決を下し輕々と所謂斷 然たる態度等の文字を用ふ る事なきを切塞する

領にお別れの挨拶を述べた ること」なつたのでル大統 滿 洲 或 **垣辭** 表令

生存を確信して居た

藏本副領事生存の第一報に

ゆき子母堂歡喜

米國記者 近く來京の

現狀を調査

第六旅團長に榮轉

後任は板垣征四郎少將に内定

さ子母堂は老眼に嬉し涙を なんは「生きて居て、本當 さんは「生きて居て、本當 さんは「生きて居て、本當 でない。 愛島の安否を ない。 できるの第一摩 では、 文明に乱け込んで ないまつきの目をしばた」き

(天津十四日登國通) 十四日

氏は先股來薄、

目下大連滯在

ソイリヤード、プライニーン記者彙米厚地理雑誌

ムから

日暹大親善團近く來朝

難か

湖州

或

々勢調

査は

司法部民事司博動を命す

司法部屬官 竹下佐一郎

順調進行する

【承德國通】建國以火黑龍江 名平定の為張海鵬片斯を整備 中に當ってみたが、大同二年春 ・ 熱河作職行はれるや前敵遇司 ・ 会張海鵬上斯に屬して熱河省 ・ のに入り、其後省内警備のた ・ のに入り、其後省内警備のた ・ のに入り、其後省内警備のた 熱河省警備軍の攺編

大計を樹て 大計を樹て 大計を樹て

米新型巡洋艦

部内の反對で建造中止か

に待つよりほかなく、それも 一萬や二萬の柳鬢では思ふや うな施設は全く覺束ない▼こ の際、園都の名にそむかぬ 唯 切つた大計畫が頭道溝暗梁間 題と併せて最も必要事だ▼暗

特に依嘱されて満洲國の教育の通信をなし、尚ニユーヨーの「アジア雑誌」に對して、日ニューヨー

機構並に計畫の記事を送るも

中だが近く來京の筈である、

各通 各通 清新 (悌)兩氏の政民政策委員團(東京國油)山本(係)山本 委員會合

政策協定を協議

當から初めて配當 五分とし、昭和三年 五分とし、昭和三年

一年後の無配

憾とされてゐる

遭難に

政民政策

配當復活

北海道際より農林省に達した 北海道際より農林省に達した 精報に依れば、十三日午前日 本の歴工船二隻がカムチャッ カのロカッカ沖の東方二十哩 の沖合でソ聯軍艦の賃拿捕さ れたとの事である。詳細は監 視船を現地に派遣急行せしめ たが、過穀來日ソ間にこの種 不祥事が頻發し、今尚未解决 の問題も残されてゐる折柄、

交通にしても教育にし

は五分

今期配賞を

任權度局技士(委任三等) 福澤 龍登 親會は十三日午後六時會合。

肥後 白石 吉男 正樹 三郎

八と土地、農

業だけ

司法部刑事司轉動を命ず

明年度の豫算に二百九十萬圓

を請求、これによっ の現勢調査を行は

んとしてを

くらひなものであり別に

水を終へた初春、子日、若薬要ある點が發見され、既に進

力の改造者くは設計變更の必 に屬する騙逐艦十二隻は復原

本の國勢調では、一本の國勢調が、に限られずいに限られずいの国勢調がある。

商業に

白露、時雨、村雨、設計終了

建造中の夕暮、

と共に未だ起工せぬ三

少く、又勞働問題にしても

意向である

額として明年度豫算に計上の である、右改装資は總額費増

よつて外國を相手のものは自給目足のもので大資本に ても大部分は小資本によ どがあんでなく、 氣工業瓦斯工業化學工業 同井國務院統計處長語る=

査の如く人口のみ 管軍大観されてを 管軍大観されてを ある一部につい |資料||は何 到底今後百年の 全般的に満洲の ゆる行政の根幹 にものを探るや

村參謀副 期することは出

で而もあら

な費用では

都合四隻の一萬順巡洋艦を建たが、右新型大巡洋艦に對したが、右新型大巡洋艦に對したが、右新型大巡洋艦に對したが、右新型大巡洋艦に對したが、右新型大巡洋艦に對したが、右新型大巡洋艦を建

を会部はもとより、海軍將を会部はもとより、海軍將を会から新型巡洋艦建造の計量が受け、最近ロンドンからの計量が発軍航空力の縮小を提案するであらうと言はれてあるが米國政府が右提案に就て対例のなる態度に出るか未だ。

**楽設置については** 今まで

の他は産業方面に と土地の なものが てもこれ として完全

如く質明し

回との會見で左の

松村大尉着任

巡洋艦の建造に就ては海軍一尉の後任前野砲兵學校教官松飛行機發着甲板付六吋備砲一闘東軍参謀部第四踝の志村大

如く スワンソン長官は十三 な反對意見が出てゐるものゝ

たやうに聞いてあるが、遊園 たやうに聞いてあるが、遊園 の問題の解決が根本的で、差 迫つた問題である▼満級がた でも現駅で置くことは、図都 でも現駅で置くことは、図都 の体面からいつても、到底許 されない、この際何とか確立 されない、この際何とか確立

東京中央部からの情報によれば陸軍では關東軍の満洲に東京中央部からの情報によれば陸軍では関東軍の満洲に正大を注ぐ必要に迫られたのと、就任以來既に二年に及ぶ岡村参謀副長に當分慰勞の意味をも兼ね閑職を定した、後任には満洲事變以來主として奉天にあつて活躍功績を残し、これまた慰勞の意味で目下參謀本部附たる板垣征四郎少將を轉補せしめることに内定した。後任には満洲事變以來主として奉天にあつて活躍功績を残し、これまた慰勞の意味で目下參謀本部附たる板垣征四郎少將を轉補せしめることに既に内定、右正る板垣征四郎少將を轉補せしめることに既に内定、右正の満洲を東京中央部からの情報によれば陸軍では關東軍の満洲に東京中央部からの情報によれば陸軍では関東軍の満洲に 學良の斡旋で 馬占山

騎兵第十師 長に就任か

今日も武大郎さんから「英明は(蔵本氏のこと)死んで居る、詰めればならぬ」 と関かされて居たのです。 然し私は今日迄英明が夢枕 に立たすに居るので必ず生 に立たすに居るので必ず生

行の餌觴れは前録道太臣ピイがの軽いたのであることとなった。

日シャ南國の上に割四日穀國通』友邦シ

祭各常局の一流人物を悉く網 高野山に開催される汎太平洋 高野山に開催される汎太平洋

行の顔鯛れは前

は來月早々行はれるも式决定發表は來る八月

「山海陽國通」最近種々職の 種を暮いてゐた馬占山は黔介

第十師々長たる種目新と連絡

月十一日當地

報によれば、馬は近く河南 しに入つた情

の馬を騎兵第十師々長に、権 が、現在、豫、 、完の三省 が、現在、豫、 、完の三省 近く質現するものと顕著へを申請し居り、一 を副師長に任命する意向を し、既に中央政府にその編成

瀬月月日日 無天湖入出入出 溫 氣

分分分分分分分分





調高の聲

す)車上の人に一瞥も臭れ 細を着て急用の時等一入で 行かねばならない、 C一覗

思はれます

福田湖に向ふ新京當局者の 福一考を請ふ 諸君が一度でも頭の日の新 諸君が一度でも頭の日の新 切氣もあつ 他心位生ず いでせら 行かねばならない、C一張 ・ 対服の乾くのを待つて出て ・ 共服の乾くのを待つて出て ・ 対限の乾くのを待つて出て ・ はして行く

自動車に 泥除けをつけ

張羅生

3

苦心じて歩いて行く一張羅 を遠慮柄杓なく泥をはね飛

たくからだと云ふ心はない 事は勿論ですが煙草をふか してゐるなぞ、もう少し親 してゐるなぞ、もう少し親 しても然る可きでせう

では行はれるのに道路の 来には行はれるのに道路の 来には行はれるのに道路の で有名な 満洲殊に新

ら行はれた第三回顧民奬券抽徳商會復上に赴き、同十時か 四名は、村井講師に引奉されの、金融合作社理事候補者廿 講習生 金融合作社 彩票抽籤見學

銀週報

弘操室で在京記者團と挨拶を弘操室で在京記者團と挨拶を

交換した

吉林北山廟會に

不穩ビラ

第王明祭は去る八日より

【吉林國通】吉林名物北山

人あり、警戒中の警察廳特務 の機変を撒布せんとする一滿 の機変を撒布せんとする一滿 すると共に件の怪漢を逮捕せが逸早くを發見、 檄文を押收 へか逃走したので惜く 十数萬に上り正に殺人的雜閒まで開帳され多職人一日平均 たるも人数に紛れ何處 長蛇

を逸した、警察廳では尚も引を逸した、警察廳では尚も引 る不逞分子の一人とも觀られ てゐる

一苦力 一 の出入くらひな問題にふれるやうなものは 十河理事 を招待 歡迎諸員

間の途 京へも 不訪の豫定で 一行はその聯途滿洲國視察訪 一行はその聯途滿洲國視察訪

ス

く第二回の協定委員會開催に 変協定促進を協議し成可く早 政側松田、俵の幹部連出席、政 政大側前田、島田兩氏等、民

尔

工船二隻

もソ

聯軍艦に拿捕

乗つてゐる人の品格にも闘

籤の模様を見學した

て然る可きでは

便船その他の都合

ある故突込んだ話

大麻雨嵐幹事長に

に一任、政局に取りは若宮

要するものと思されてゐるがなりの調査日數と勞力をかなりの調査日數と勞力を 各區(鐵道關係)長その他四在中各方面に亘つて援助をし ホテルに十五日 秩父御名代宮殿下 御來京御滯

中のところ、第一大補充計畫中のところ、第一大補充計畫中のところ、第一大補充調査 Δ 四課長)十四日夜行で大連秋山参謀(陽東軍参謀が第 人事 往來

復原

力を改修 驅逐艦の

特がかけられず、更に來年度 特がかけられず、更に來年度 では、折角の名案も大した期 では、折角の名案も大した期 チャント 又は魔介の築場として闘みら 化すことは、より市街美を添 効果があり、更にこれを験林 期待され 整理さ 京には最も必要な ないが、現在の新 ないが、現在の新 頭道溝筋の 理されるだけでも 遊園地

間療 往宅 診診

任後二時ョリ午前十時…… 一午後二時了 限リニアラズ

東京蓬米町(中央扁精以日報社西隣) 田



色版に附したるもの、本邦に於ては本書を以て嚆矢さす。撰み、對照案引に便ならしめんが爲全部實物より撮影、原種の中よ、特に完全無瑕なる本邦産貝類一、三六〇餘種を 最新刊』 緑線線・美地あらゆる方面の 別界の構成平瀬先生が多年に渉り、蒐集せられし貝類數千 ▲単名は特に東米が井の元老ビルスプリー 1/2 內容見本贈呈



既刊好評一際紀華人昆蟲七〇〇種】教養一門:語 振替(東京)七九三四番 松 邑三松



凡ゆる点に於て皆様の御講

足を得る自信あり 電話二八三四番へ 御一報次第直に係員を同はし

雙發胖行 新京日本橋通リ七十四番地 Eþ 部

朝 鲜 釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平壌、鎌南浦、内 地 東京、大阪、大阪南區、神戸、下間支店出張所及派出所

· 朝鮮銀行新京支店世本銀行 元山、 雄基

日、交換賣買÷御取效致候 日、交換賣買÷御取效致候 日、交換賣買÷御取效致候 日、交換賣買÷御取效致候 日、交換賣買÷御取效致候

商業 曜。祭 學 言い設古 A 電正 十後休於 六 -街

材木

店

君話三八八一番



### 和泉町から 日出町に 直線 前 9 廣 場

所長、中山

四四二九〇七一 三五二十〇七一 三五二十〇七一 三九〇一九 四二九四七 四二九四七 四二九四七 八八〇一九 八八〇一一

三五五五五〇六三三 三五五五五〇九二 三五五五〇九二 三五五五〇九二 三五五五〇九 三五五五〇九 三五五五〇九 三五五五〇九 三五五五〇九 三五五五〇九 三五五五〇九 三五五五〇九 三五五五〇九

日に

した

講演を全校職員生徒一同機構から同校構堂で森岡天涯氏の

協和會の宣撫班

鄧鐵梅逮捕

を宣傳

## **韓前交通難は一掃されやう** になる に着手

驛前の花園を中斷し驛に面した花園の半圓だけを壞して廣 擴張を計畫してゐたがこの程和泉町から日出町へ一直線に 獲在の新京驛前は國都の玄陽としてはあまりに狭すぎるので 満鐵では廣場の は帰前の花園は半圓となるわけである 場を擴げることとなり近く工事に着手するはずで従つて機器の瞬 ☆慰勞のため新京駐在河本浦 株父御名代宮殿下御來京に伴 株父御名代宮殿下御來京に伴 として圏体宿泊料を通用するなほ宿泊所は夏家河子水明館

假裝行列を繰出す 運動會

開所式は十八日擧行されるとけられた朱家城子分駐所の

鐵理事は十四日午後六時半

滿洲國官廳休業

日五十月六年九郡昭

合間に假裝行列を繰り出すと更に明朗を願らすため競技の所では當日の盛大をを増し、 各係長、各主任、關係者が集りを開き、神崎委員長を始めた開き、神崎委員長を始めた明き、神崎委員長を始め きのふ打合會を開く イ、建立 二、建物屋上 要は左の通り 一〇三四平方米三八八 七四五平方米三八五

ハルビン一泊車中一泊で十八十四名の多きに上つた一行は十四名の多きに上つた一行は十四名の多きに上った一行はつた中込者は十四日までに三 - ロー新京案内所主催 찍 分駐所開所式 の豫定 被工昭和九年十月十五日

日

ピン散策圏をツーリ

ン散策圏をツ

日

ピン散策團

一般軒の高サ

一四米米

萬寶山暑管內朱家城子に新に 發資驛、鐵嶺、開原、双 新京各驛

四平街、郭家居、公主樹

美學



H

モ

ンロ

恩門横石段を上らせられ内壁

刻など一幅の南書と 種々側下間遊ばされ、再ひ後された殿下には閩市曼に對してれた殿下には閩市曼に對し 事官の御先導にて 巧みなる ものである

時御機嫌殊の外配しく御節還體裡に自動車に召され午後五 樓上 前にて諸員最敬 御名代宮 西の観東平野歌航空版に御成御旅館を御出穀遊ばされ、縁 ず、酸に長き極みであるが、 かの御疲れの御槙稼も拜され に れた 株父倒名代宮殿下には 柳

御多忙なる御日程を終らせら

愈よ奉天御發ふ午前九時十分 版内を御巡視遊ばさ

命を慈無く御が 民の名残り強きせぬ率送極に れ全市五十萬の日滿市 率天脚に向 下は左の如き御答解を述べらの午餐會席上秩父御名代宮殿

4

北宮内府大臣七の他隨員以下は変刈軍司令官、林主席隨員は変刈軍司令官、林主席隨員

させられ

駱駝、象の石脈にお目を止め並ぶ獅子、走獣、麒麟、馬、

一更に 思殿正面右側の御体憩所に御 と順文側通過隆 と順文側通過隆

| 一 を 作へさせられ 一 を 作べさせられ

官その他市政公署役員等の奉鞭権大用長以下市政公署参事

十五分北陸に御到藩遊ば の 足別邸前を御通過、定刻 ないと、東北大學除元 で刻 ない。東北大學除元 で刻 を対して、

の 本官倒免事にて臨市長権誘 の は、 野く御台郷を貼び接縁 の は、 野く御台郷を貼び接縁

前に強み北陸の沿革に就き流にて正面隆州殿前に玉歩を運

御答辭

省長午餐會席上

M

•

に御成

奉天市長御説明申上ぐ

けふ地鎮祭

**専になつたが新腹舎の建築紙 る御動静を大保活動撮影班が 頻泉特別市北安路で撃行する** 明きつとき新京御漕後に於け 観察は十五日午前十時半より 満の東京御出験から大連御着 低報、軍職業補導部新腹舎地 先に、秩父御名代宮殿下御訪

秩父御名代宮殿下

金)

職業補導部廳舍

前七時歸京の

映畵入場料廿五圓を

毎舎の

聞

認め荷雷地

余も嘗て訪

一男頭 一男 終つて甲府 青年俱樂部青年に張大臣より

岡田監督 近藤マネージヤー(東京國通)明治大學野球部

に出酸と决定した

皇太子殿下

御降誕恩赦

五被告も近く假出獄か

川協和會委員、滿

明大野球チーム

は十四日午後零時半東京開發 横濱に向ひ、三時横濱出帆の 秩父丸で華々しく鹿島立した 一行はハワイ大學、朝日日本 人クラブとの試合を貸し、八 月一日輝京の豫定である、尚

記事 訂正 十四日附割刊八千代館主郷竹三郎氏護朝刊八千代館主郷竹三郎氏護

ハワイ遠征

・ 
一層有意義となったと各方面 
から喜ばれてゐる、甲府宵年俱樂 
いった。

甲府青年を迎へて具体化

極彩膜を瞠

でなった、同俱樂部 同年俱樂部」は生

出版の恩典に浴するものと観 情に影響を考慮し慎重研究を 情に影響を考慮し慎重研究を

同樣今後共御聲援御援助

1

程奉懇願度御依賴旁々及御

獄となるので 関係方面で右のを通算すると八月中旬で假出

られてゐる

首都庭球界の

昭和九年六月十五日

新飛躍を期待

後援會が組織さる

盟軟式庭球部後援會の組織を大飛躍を期すべく新京体育聯

関をの他も決定し大々的に會 計整中だつたが、いよいよ會

出席して盛大な宴を張るはず名主人側から地事各係長らも長、鐵事各係長その他三十一 **延長、警察係主任、各學** 五日午後六時半から開花

かねて延期 行事は来る上 行事は来る上

の十八日午後八時か の十八日午後八時か の十八日午後八時か

三角地帶にあつて暴虐の限りを盡した野鏡梅逮捕を機會に 東邊道協和會宜撫小委員會で は一般民衆及ひ匪賊に鄧鐵梅 必滅順天安民を自覺せしめる ため本月廿日より三角地帶一 ため本月廿日より三角地帶一 での本月廿日より三角地帯一

映畵

隊防の講演

新京高女では十四日午後一時 森岡天涯氏 きのふ講演

子サ

他五卷を映寫する

の口腔衛生に

年に闘する映畵その

赤ちや

を生んだ

可愛らし

い牡牝二匹の鹿の仔

五籤當彩番號

割引額は未定(昨年は三割

河本理事

昨年八月ごろから生き 「昨年八月ごろから生き」 昨年八月ごろから姙娠中で静 ら小屋の中に入つて一歩も外 出しなかつたが、午後氣道つ て親廻つた王動物係が小屋を ででいたら周らずも花子サン

日子ともに健在で

一名命 | するであらう、 は一尺二寸、牡は一尺五寸除り(寫眞は花子サンのいやがる産屋に忍ひ入つて本配寫眞

を て一匹は「秩父」他の一匹は 多分秩父宮殿下のお名を頂い で て一匹は「秩父」他の一匹は 来客の目をひいてゐる、母親 花子サンは一昨年馬占山討伐 の際平賀將軍がチチハルから れた新京には由緒深い鹿であれた新京には由緒深い鹿であ るので吉田ヶ原主任は赤ちや

四尺增水

数日來の降雨で通遼、錢家店 十三日以來交通杜絕、住民の 十三日以來交通杜絕、住民の

主義を目指し 鏈家店

満青年俱樂部生る 元氣な顔を見せ石黒数官長の手を握りしめ、既生の歌喜にふるへる劇的光景を呈したとある

Ħ

謹

業員一同休業致ス可ニ付乍勝手御諒承願上來ル十六日ハ陰曆端午ノ節句ニ有之當日從

ジ被下度候の収金御用命配達ノ向ハ十五日午前中ニ各販賣店ヲ通

昭和九年六月十五日

新京石炭商組合

電話三〇六九、二五三九番

名前は秩父、康徳か は語る。 右盗離事件につき學校當局で

留書 はいづれも學校所 当所に配達されてある校所 当所に配達されたので内査 はめ ですが、本年五月ごろ生 を進めてゐる内二回三回と を進めてゐる内里 女教論が郷里に 二十圓の爲替の爰付方をボーイに依頼したがその爲替 か到着してゐないので迷に たが自白をしないので遂に

城民歡呼

數日來の豪雨で 警察に届出た次第です て迎ふ

○名は黒石鎭及朝陽鎭の兩罪 ちに之が救出並に討順に出動 ちに之が救出並に討順に出動 せる吉林軍教導隊の精鈴○○ 走したので、即時警察隊と協力、共匪の追撃に移つた、 尚問題の 本田参事官及ひ大橋、大杉、藤原各指導官は確實な大杉、藤原各指導官は確實なたが、激導画を歌呼して迎へたが、激導画を歌呼して迎へたが、激導画を歌呼して迎へ 大り下車、勇躍前進を開始、 を続けてゐたが、通信あり 進を続けてゐたが、通信あり 変導隊は十日午後遂に蒙江縣 域に入つたが、野城包園體形

有 社員招

===固定体給他步合多し=== 區所 各率地天 「補洲國各地駐在」 駐駐 在在 Ξ +

名名

滿

株式會社

陳者弊社專務取締役葛和善雄、 兩氏儀満洲モータース創業以來專心業務發展ノ爲努力 被致今日二及ど候處今般一身上ノ都合二依リ解任ノ上 ヤマト商會ラ創立致サ 候各位愈々御清榮ノ V ル事ト相成候就而者在社中ト 段奉欣賀候 新京支店長中村昌次郎 大連出張所 大連市岩狭町二三二番地新京日本通り新京ピル 三 一 三 番電話 三 六一 三 番率天平安通り輸入ビル

時下新緑ノ

滿洲

會株

社式

之

# 頻々どして

女學校寄宿舎の書留紛失

出た、同署では事件の内容を 刑事部長、日高刑事が大活動 では事件の内容を 常局で福秘に内査を進めてる 電局で福秘に内査を進めてる 電局で福秘に内査を進めてる を対象す以て組織し席務部を 疾から設金して來た書留が本と同時に執京に在住する庭録 疾から設金して來た書留が本 と同時に執京に在住する庭録 疾がら設金して來た書留が本 と同時に執京に在住する庭録 ず當局では右の旨薪烹譽に届たが犯人を突止めるにいたら イを目下取調中 本 と同今は独京に在住する庭珠 電力地方事務所社會係に置く 自員の會費は毎年最低三個と し、會員に對しては會員章を し、會員に對しては會員章を ト使用が出来なほ試合ある場 あり、庭球愛好者に取つては この上ない脳音ともいふべき

十八日に延期 教習警士卒業式

は語る

學校當局

橋洲関第七回教習書か三十名 の卒業式は十五日舉行される けづであつたが都合によつて 十八日に維朝さしと 人日に延期された

教導隊の精鋭を

海馬電三三〇〇卷

清水鍼灸醫院中央通り大阪屋號書店 生理學士

ス店

●關節炎●脚 疾 •脚 氣 るに限る の皆様が高低され

とにらみ遂にボーイ某を引致

であらら

販重取調べ中である<br />

局主任二名

目一番 與來不商會內土壓宛急 學歷年齡不問給月百圓及宿舍

求北鎮果實組合分 至急求人

申込場所 常 餘興として男女各種競技及閥引等

E 整町三丁目 電話二二八 0

タンス 開始

へ天、佛、神等 を護仰して や、具体性をもた以宗教客体 を、異体性をもた以宗教客体

我が畠國に於ては、祭政一致

「まつり」と「まつりごと」

くつたのでありましたが

論大切でありませら、 自己の安心立命を得る事も勿

悲しみといふ悲しみは暖めら生活の苦悶が剝ぎとられ

同十時四〇分

私はせつない心で待つてゐためぐりきた夏を

前六時 〇分

同八時五分

月六

年

洲國として次の如き大きな更に専賣所が直營にすれば

營は政策遂行上

批設處にしても零賣所にして 走り過ぎた概がある、鴉片の

度上手な漁師が金着網を

長オスカー、ミラー博士は光鴉乙科學界の恩人國立博物館

ジャズの音に小唄を合せはし男の手とる心は涙

味覺等による異 状の

**善く味ひ、異狀なきを認** 

××××

低、清濁等の區分

打審音の高

に對する政策は満洲國民の文前に述べた如く満洲國の鴉片

心せ 以小明なれ

ちふるー

公營論

古代アラピア文化の淵源、二 ・ 一四百年前のピザンチン時代のピザンチン王妃の薬晴しいのピザンチン王妃の薬晴しいから愛媚されたが各種費石はから愛媚されたが各種費石は、 今だに往年の榮華を物語つて

零賣所

鴉

零

賣

所

公

營

論

悲しくも失せてゆく青春の香機るは心の刃

主婦の

1

E

あふるは酒…

◆締詰の検査◆

一時の気なぐさめかい

ともる灯に今夜も歌ひはすれ

の、形の變なもの、釘孔

の、外の出てる

至つて漸次網を引く樣にせねの維持が困難ならざる程度に

海の

から

去したが、本月中旬、愈々本る四月九日八十才の高齢で逝

蛇の皮を

式に伯林市民都を暴行、故人の大戰以來國家に強した功績を頌彰することとなつた同氏が昭和四年十月、東京に開催された萬國工業可識に來朝してれた萬國工業可識に來朝し

考ひの父母今や如何に

六月一〇日・

飛ぶは故郷へのやる潮なき思

ひ置く

奥食するの智慣を養

ある様に誤解さ

い腕環現る

4 ナチカら 僧造に 選手することとなったが 豫算難で 英本國

つでけられる

すこやかな生へのいとなみが

同十一時三〇分 =

同十時五九分

へ泣きを入れるらしい

は活の垢を斯んな日 を出る。なさけをかけてゐる を活の垢を斯んな日

この情熱 夜に想ふ 船

此の情熱 押し寄せ 何處にやらう あとからあとから 此の情繁

術も忘れしすぎこしなれば ねばなるまい

今日といふ今日 来る日毎に老ひ

問 新

れば政策遂行上最も有利であ以上の如く專賣署の直營にす 上の秘密費買を根絶し得る質所の使用人を督勵して私、事費署の直答にすれば零 へれ

(#

現在新京の零費所は鴉片 燃料及人件費等を

強く生き

**發露及零賣所を公營せよと主** であるから鉱者は特に鴉片批 であるから鉱者は特に鴉片批 聞る心 黙い居

れて来たなげきの

いた

みことかしこみ

すめらぎの

宮殿下を仰ぎ率りて

日

四、專賣署直營にすれば經費 を節約ずる事が出來る、例 へば新京に四十個所の零賣 へば新京に四十個所の零賣 所があるとすればそれを適

い模様であるがなっと云ふ營業上の数

君の御胸に棄てし夢のよみがかの玻璃窓に映つるたまゆらちゃにくだくる光り

夜の空高々打上げん での空高々打上げん 此の情熟故に

は悪し とは悪し は悪し

日

三、專賣署の政管にすれば警察の干渉が少いと思ふ點から自宅に職れて吸ひつゝあら自宅に職れて吸ひつゝあの中毒者が零賣所に多く出る。

五月よくある砂塵も風と共に

生 **伊奏は我が心** 二人して逍遙ふ黄昏の曠野

六月八日

なつて泣きたい時があ も言へない事があ 生活の垢を必慮も共に僕も吹吹きまくるがよい、そしたら 强い母よ 松 元衛

門

の幕に俯を忘れた僕である ぐつてもぬぐひきれない憂鬱 ぐってもぬぐひきれない憂鬱 抱きついて纏んで居た頃を懸めい頃、ただ即もわからずめい頃、ただ即もわからず

時個、 日 わたしは父母を想ひ 日 歌壇 同七時四〇分 同六時四〇分 同六時二〇分 七時〇分

マット (大阪ヨリン ) (大阪ヨリン ) (東京ヨリン ) (東京ヨリ

ちるるかっとう。 大馬猛心のさはりとなるばかりだ をなし送げたとて何になりませう らるるか。そのやうなはかない態

の夢を描さるしましたが、我と我 役に立てすうと性限をスかへて居 **遊ひあきらめて、比身をデウス関**が心に恥ぢ、ほどろはふつつりと

方からお客と音を の強へは入つてが

和總勢産總向上の日本精神の和總勢産總向上の日本精神の大神道研究家メーソン氏は「創造意機的直視」と断定し、日本精神であるばかりでなくて、漸く行つまつた世界を復活せしめる原理としての世界精神であると申しました し、總でを包容してゆく總親的大皇四海同胞の御穀となりを見れ、そして總でを作育をの入絃一字の御韶勅となり 隠さうとは思ひませぬっなる構お と思ひます。紐着お前様に動して

少しの無理、人爲なく、本道、人倫の常経でありまし 日本の道は、賞に天地の公

みで、敦國の問題を何とい

つりの気持になって、民を治を恐れ、神激を休して即ちま

しませら

は、宗教的權威と政治的主体西洋や印度、支那郷の歴史で

日本の神

東辺し、からる宗教に於ては のでは、からる宗教に於ては のでは、結極宗教宗派と しえられず、結極宗教宗派と しえられず、結極宗教宗派と 成はローマ法王とキング、への政はローマ法王とキング、へ 的に、現實的に、限の前に、 なくして、その神は最も具体 なくして、その神は最も具体 宮のおなりぞいとたふとしわがさとに 即ち、日本人は 天皇様を 天皇となつて願れ給ふので

修養團運動に就て

修養團主幹

蓮

進化、電大電子のではれる記組を適してうかではれる 同時に自己の本質を正規する 大照大御神をおろがみまつり る信仰生ける宗教でなくして譯でありましてこれこそ落け

迅速叮嚀

同一時〇分 演奏(蔣州語) 大観樓 小平同二賜五〇分 ニュース 阿三時二〇分 経濟市况(東京ョリ)同三時二〇分 経濟市况(東京ョリ) (本天より日滅南語) 同个時三〇分 演響 後〇時 五分 松連 (經濟市况車 同五時五五分 同五時三〇分 同四時五〇分 同四時四〇分 五時〇分 六時〇分 (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より)

にいた。 配修は大望のある身で、いろく ラフィー は削りわかつて居ます。さればこ のですが、数之永順。よしんばお 要と想つて国なさることも以に くからしたことを、話し出した いるしとらるる身であら る身であらう 山の手に落ち す。永い間一しよれのでしてみだらなこ つたその後は、お釈脳は自然と神 丹の行者ではあるが女でもありまっになるかも知れませれる私は切り におられて、女 出来ない悲しい心 ねばならないや

残念ではあるが、入野はからした 速の成女と 来般に励めるの! お高はじゆん 八字はからした とをお前様やお

であつたの の配しなく階級の んな話しが特出 として説くの

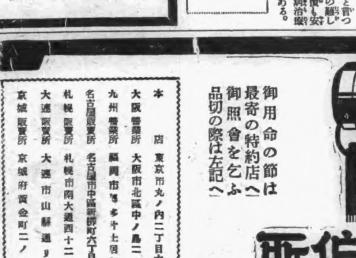
に暮らして吹た フォード 朝日タク シー内

疊 東 話 三 四四〇季 殿新十郎 豐店

にウヨ < する 寄生虫が皮膚内部

トラック トラツク

のです。す。只一日數回外部から塗れば宜しいす。只一日數回外部から塗れば宜しい消毒、殺菌、冶癒の三作用を發揮しま活れず痛まず而も皮膚深部に到達し、 ッケ御試しあれ 攻 一番良くキッ **東京 出等審単の書、翻** みづ戦、たむし 線全 何定 用身 瓶用一五冊 五 間 **四級殺** 



左把の順序に從つて行ふが良 田

新や神奈川にはおほびらに切支丹 と原的が結ばれた今の御時世、長 を網盤って目るお春覧の小様を殺のな寺も無つたとのこと、お前様 **客院はそんなことをお前様に打勝って用らる」と仰せられたが、お** るやうにひろがつて行くと思つて と切支丹は、洪水が平地に光震す と原的が結ばれた今の御時世、長いと思つて居ましたが、カ々の異核 山科の隠れ家(ID 山科の隠れ家(ID 『お高版・お客館が抽者を終示 るそれはお前級も までもお探唆を手 あの神山庵之進 は、熱性をして居る にもお前機や背丘 しませぬっなぜな 思ひあきらめずに 傷で取りかへしは して見さらつて

とりでなくば、との他を製る値の一般をかばつては尾お前線とてお野院が著し私のあとも無事であれば、 け廻して居ります おの織山のお 解談 ります。私にして お学をみつけ出 とはわかつて お前線にして 今度の戦闘の

お前線とてお客院が著し私のあと そんなことを私に打ち明なされや 私がみ抜いたまでのこと いの支付のせん

極端の苦心で無 簡めにしやる 度ならず二度

間みふかいお経院、何として

ればお祭殿には

なされたのでこさるかし

ルブタ

らはして思たる ないつもなら 34年型 堂々斯界を驚嘆さす ーダンタス



かないが進星 東帯戦闘大和田が大会場を上崎・時代的の一名場が 文明病といはれる。

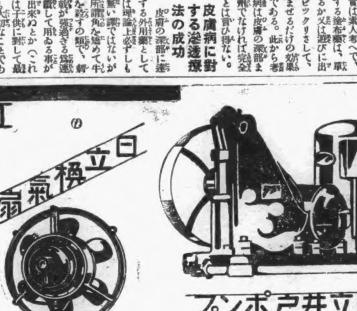
脱毛薄毛

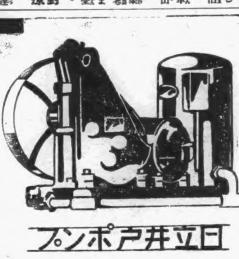
胆

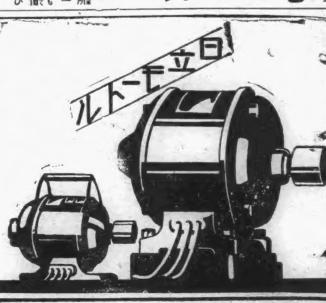
無理ではないのである。 な強ひ、皮膚頬を強やすので、世 がこれを文明頬と官ふのも強ち ロ 餘病の併發を警戒せよ 角層

「皮膚病で命を壁す」と言つたらで、其側は限りない人もあらうが、其側は限りない人もあらうが、其側は限りない人もあらうないで扱いして、丹毒とか殴的症が、其場所がらバイキンが浸入して、丹毒とか殴的症が の結果、激透熱及毛管理象の理論がある。 を膨胀して、表皮角層下に激透した。 を膨胀して、表皮角層下に激透した。 を膨胀して、表皮角層下に激透した。 をした。 世になってはい、乃至は薬が無かつたので、後に臓い経動な違ずとか、防では薬の作用がぬいなって、後に臓い経動な違ずとか、時では薬の作用がぬいる。

と皮膚の内部には恐しい寄生動が を 皮膚の内部には恐しい寄生動が 大り、それがたむしとかいんき 大り、それがたむしとかいんき い糖合に使用法は徹壁で、電気であるが、理風の







膚

△港透作用に據つて深くバイキンや

寄生虫の本據を衝く近代的治療法 度是を歐微鏡で見た

い生活振りに身の毛のよだつ思ひ、生活振りに身の毛のような、 こして憎

その際に縁続が不

クテリヤに對する 內 棲深むく

東京市丸ノ内二丁目十二番地 大阪市北區中ノ島ニノ一四



(四)

五十日

美術看板

+

日